≪令和 4 年度事業報告≫

令和 4 年度の収入

令和 4 年度は 1,649 名の保護者・151 名の個人・46 団体の法人の各会員の皆様から 22,205,000 円の会費をいただき、前年度からの繰越金 3,551,572 円、寄付 10,000 円、他利息 138 円を合わせて 25,766,710 円の収入により事業運営をいたしました。

学園への支援

1）助成費

令和 4 年度の助成費は、14,000,000 円を助成し、メイングランド人工芝張替工事資金返済にあてられました。

2）事業費

① 体育文化活動費補助

強化指定部（野球部・ハンドボール部・陸上部）の活動資金として 2,500,000 円を助成しました。

② 菊葉祭での食券配布

コロナウイルス感染症対策ため菊葉祭の開催は生徒と保護者 1 名の参加となり、模擬店の出店もなかったため、食券配布はありませんでした。

③ 賀詞交換会への参画

賀詞交換会は、コロナウイルス感染症対策のため開催がありませんでしたので、支出はありませんでした。

④ 講堂兼体育館

平成 22 年度より令和元年度までは毎年 300,000 円、令和 2 年度は 400,000 円、令和 3 年度は 7,484,000 円(内スタッキングチェア 7,084,000 円)を寄付してまいりましたが、令和 4 年度は募金が終了した為、支出はありませんでした。この結果 13 年間で 10,884,000 円の募金実績となりました。

⑤ 運営費

◆後援会活動はさくら会手作り教室(プリザーブドフラワーアレンジメント・レジンアクセサリー・木材サンタづくり)を開催しました。

1 学期は web 開催でしたが、感染症対策を施し人数を調整しながら学校での開催ができました。

◆8 月には芸術科の先生方のご協力で陶芸教室を開催しました。3 月 25 日に基礎を学ぶ練習会を行いました。

◆11 月 5 日(土)「高尾山薬王院御護摩修行と法話の会」を開催し 49 名の参加がありました。本校卒業生の佐藤秀仁貫首の法話を拝聴しました。

◆エコランカー応援ツアーは主催者からの制限があった為応援ツアーは実施できませんでした。

⑥広報活動

◆菊葉リレーションズ第 40 号 41 号発行。

◆ホームページの活用

総会決議の報告、クラブ活躍報告、後援会活動報告、後援会加入申込など、ホームページを利用しました。

育英事業基金の運用

奨学金の原資である育英事業基金は、令和 4 年度の繰越金 3,223,662 円と令和 4 年度の繰入金 2,000,000 円、緊急支援奨学金の返還額 130,000 円と預け入れ利息 26 円を加えた、5,353,688 円が決算額になりました。

本年度においては、成績優秀奨学金（返済不要）を 1,086,000 円支給しました。

成績優秀奨学金は、①英検 2 級以上合格者への受験料補助、②大学受験料補助、③クラブ活動の成績優秀奨学金の 3 種類を実施しました。

① 英検 2 級以上合格者への受験料補助

英検合格、準 1 級合格者、6 名、2 級合格者、30 名申請があり、251,000 円の補助をしました。

② 大学受験料補助

大学受験料補助は、一定レベル以上の大学を受験する生徒に対して、そのうち 3 校の受験料を補助する形で給付型の成績優秀

奨学金を支給しようというものです。リスクに煩わされずにチャレンジしてもらいたい、ひいてはそれが本校の知名度を高めると考えているものです。

校長の推薦による 7 名が希望し、735,000 円支給しました。

③　クラブ活動成績優秀奨学金

自動車研究部、ハンドボール部、女子ダンス部に成績優秀を称え、合計 100,000 円給付しました。

＊グローバル奨学金を予定していた 2,000,000 円については、コロナ禍で海外語学研修ができなかったため、代わりに行われた国内アチーブメントキャンプに 1 人 20,000 円の補助を出しました。29 名分 580,000 円の支出。

上記の結果育英事業基金の手元有り高は、3,687,688 円となりました。